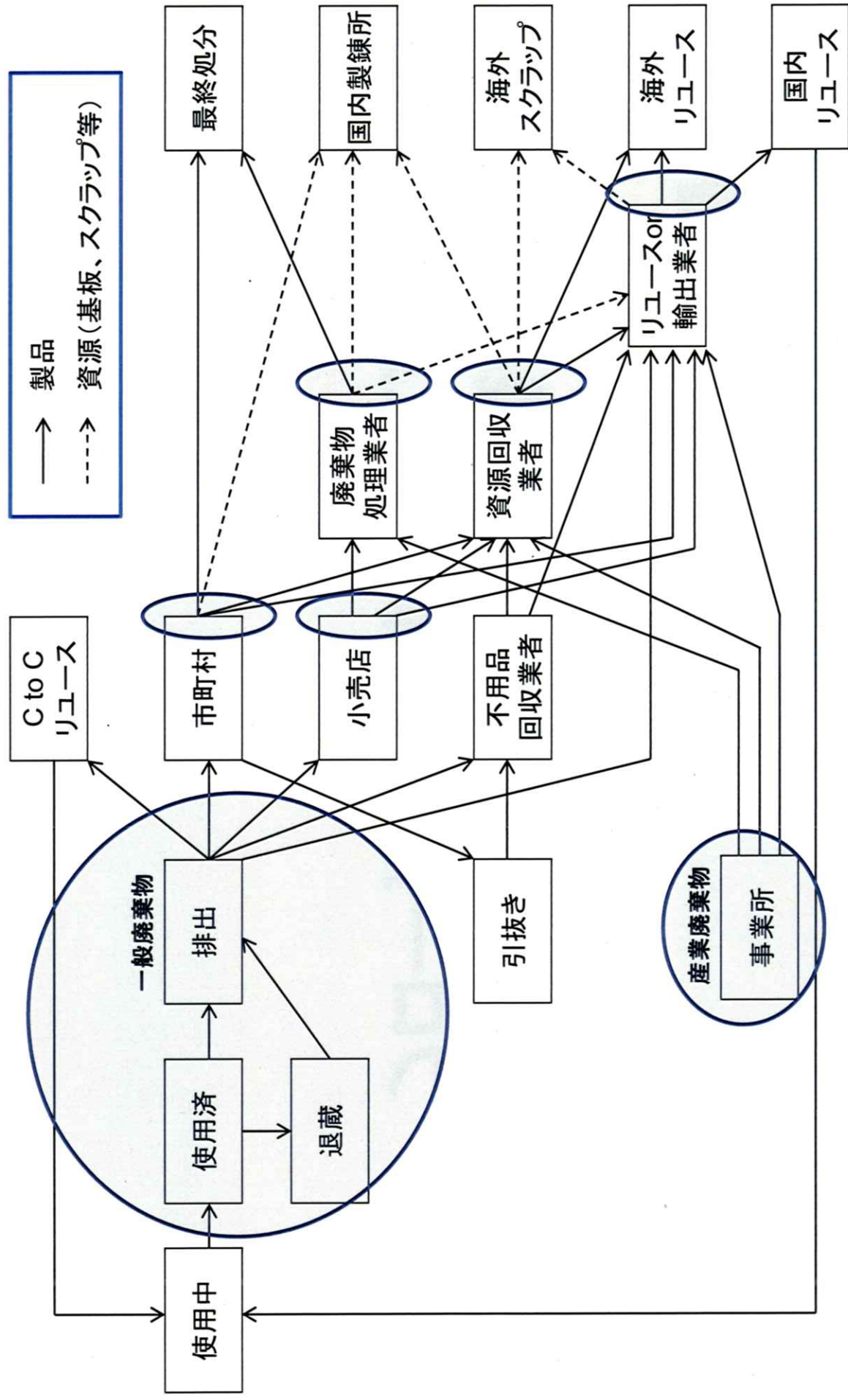




使用済小型電気電子機器の フロー推計結果(一次案)

推計方法の概要 (1/2)



推計方法の概要 (2/2)

項目	推計方法
一般廃棄物比率・産業廃棄物比率	製造業者・小売店へのヒアリング調査、消費者へのアンケート調査を実施。
使用済	レアメタル研究会で用いた潜在的回収可能量の考え方で算出(出荷台数と平均使用年数から使用済となる台数を推計)。一般廃棄物比率を乗じたものが一般廃棄物として、産業廃棄物比率を乗じたものが産業廃棄物として排出。一次案では、排出台数は考慮せず、「消費者からの排出+事業者からの排出」を100とした場合の推計を実施。
退蔵	退蔵個数についての消費者アンケート調査を実施。
退蔵からの除去	退蔵からの除去についての消費者アンケート調査を実施。
排出	「使用済台数」-「退蔵」+「退蔵からの除去」で計算。
消費者からの排出先の割合	消費者へのアンケート調査を実施。
市町村からの引渡先の割合	市町村へのアンケート調査を実施。
小売店からの引渡先の割合	小売店へのアンケート調査を実施。
不用品回収業者からの引渡先の割合	不用品回収業者へのヒアリング調査を実施。
資源回収業者からの引渡先の割合	資源回収業者へのアンケート調査を実施。
廃棄物処理業者からの引渡先の割合	廃棄物処理業者へのアンケート調査を実施。
リユース業者からの引渡先の割合	リユース業者へのアンケート調査を実施。
海外リユース	国内輸出貨者を経由した場合、上記アンケートでは国内リユースとして回答される可能性があるため、関係者へのヒアリング等で補正が必要。
海外スクラップ	国内輸出貨者を経由した場合、上記アンケートでは国内リサイクルとして回答される可能性があるため、関係者へのヒアリング等で補正が必要。

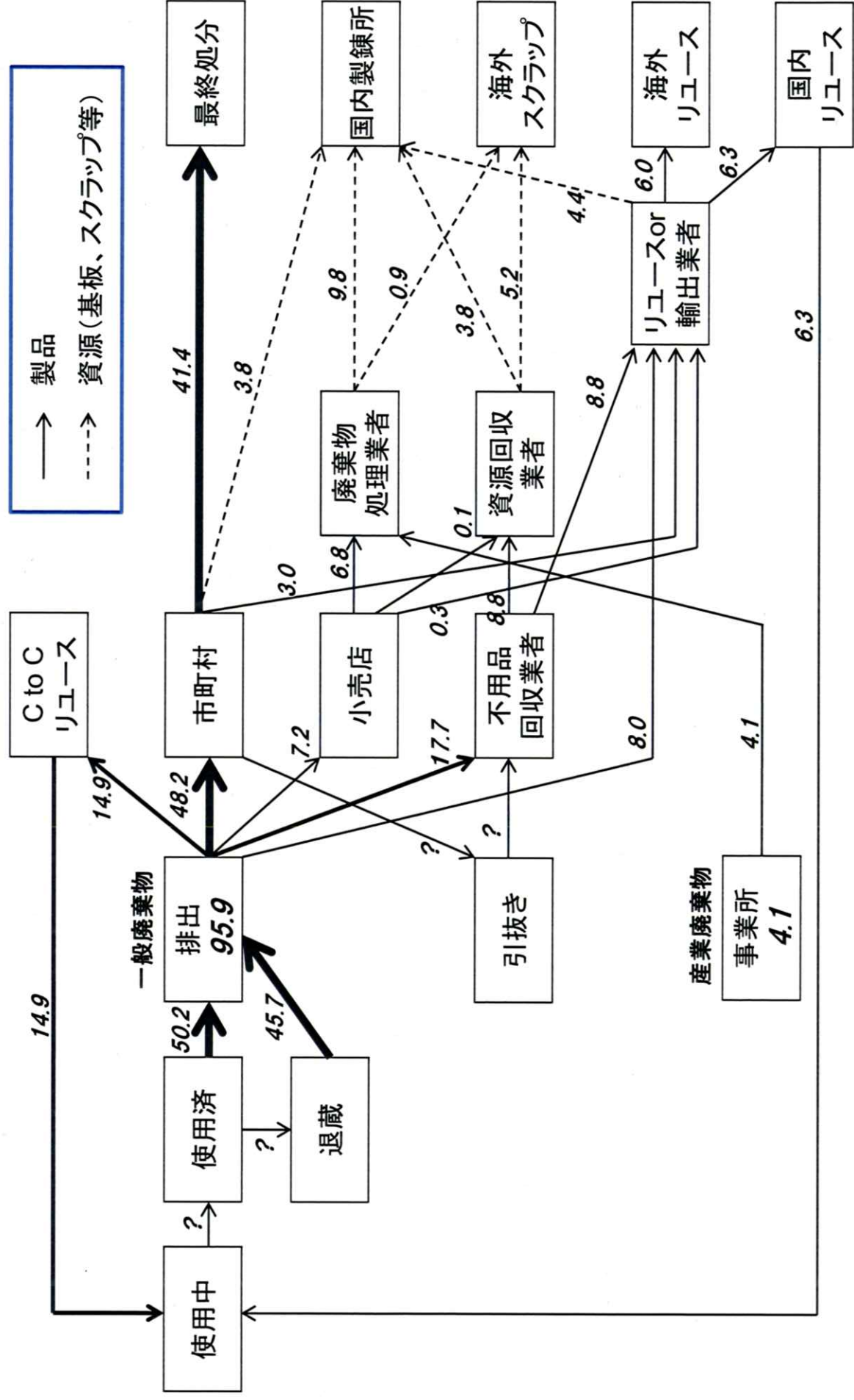
※ 推計方法の詳細は参考資料を参照。

品目の分類

分類	具体的品目
A: 中型機器	【比較的尺寸が大きい製品】 電子レンジ、炊飯器、食器洗い乾燥機、電気温水器(電気瞬間湯沸器)、クッキングヒーター、家庭用生ゴミ処理機、空気清浄機、扇風機、電気暖房機器、電気カーペット、こたつ、電気毛布、電気掃除機、家庭用ミシン、布団乾燥機、ズボンプレスサー、家庭用医療機器(電気マッサージ器(マッサージチェアを除く)、血圧計、体温計、吸入器、補聴器等)、電気ギター、電気照明器具
B: 日用品	【日常的に使用される製品】 電気調理器(電気圧力鍋、ジャーポット、フライヤー(揚げ物器)、ホームベーカー、精米器、ミキサー、コーヒーメーカー・コーヒーマル及びティーメーカー、トースター、ホットプレート等)、換気扇、電気アイロン、体脂肪計・体重計、懐中電灯、電気美容機器(電気かみそり、ドライヤー、電動歯ブラシ、その他の電気美容機器)、電球・蛍光灯
C: 小型機器	【比較的尺寸が小さな製品】 固定電話機・FAX、電子辞書、電子玩具、デジタルカメラ、携帯音楽プレーヤー(デジタルオーディオプレーヤー、テープレコーダー、MDプレーヤー、CDプレーヤー)、ICレコーダー、デジタルフォトフレーム、カメラ、時計、据置型ゲーム機、携帯型ゲーム機
D: AV機器	【オーディオビジュアル(AV)用品】 ラジオ(ラジカセを除く)、ビデオカメラ、DVD・ビデオプレイヤー・レコーダー、ラジカセ・ステレオ・スピーカー・アンプ、プロジェクタ、アンテナ、チューナー
E: カー用品	【カー用品】 カー電子機器(カーナビ、カーカラーテレビ、カーDVD、カーステレオ、カーCDプレーヤー、カーMDプレーヤー、カーアンプ、カースピーカー、カーチューナー、カーラジオ、カーユニット、VICISユニット、ETC車載ユニット)
F: パソコン	【パソコン本体】 デスクトップパソコン、ノートブックパソコン、タブレット型パソコン(iPad等)、パソコン用モニター、家庭用プリンタ
G: 携帯電話	【携帯電話】 携帯電話・PHS
H: 付属品	【電気電子機器の付属品等】 小型電気電子機器付属品(リモコン、キーボード、マウス、ゲーム用コントローラ、イヤフォン、ヘッドフォン、ACアダプタ、延長用コード等)

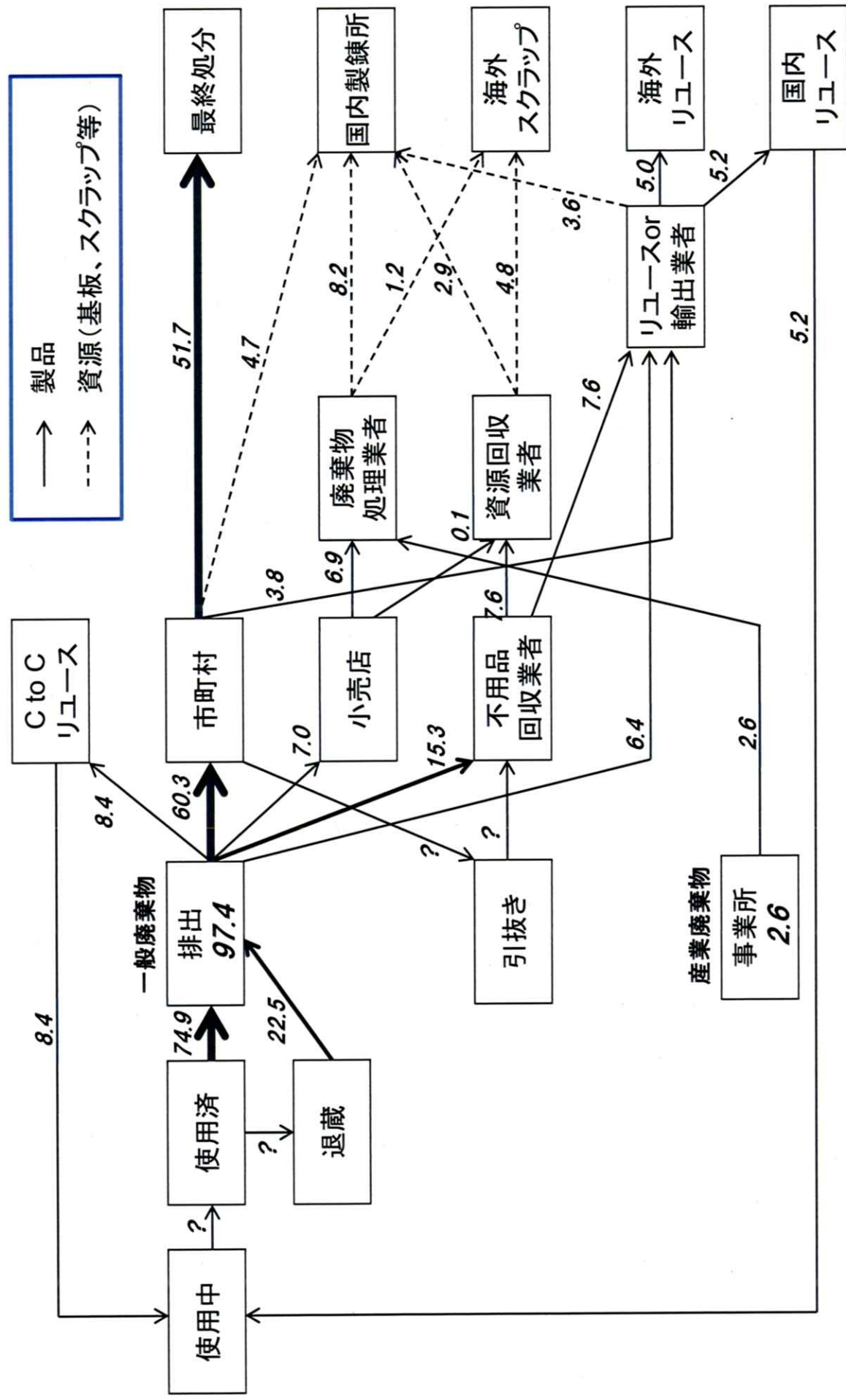
※ 赤枠部分が今回フロー一次案を提示する分類。F: パソコン、G: 携帯電話については既存のフローとの整合性等を確認中。

フロー推計結果（一次案）（A：中型機器）



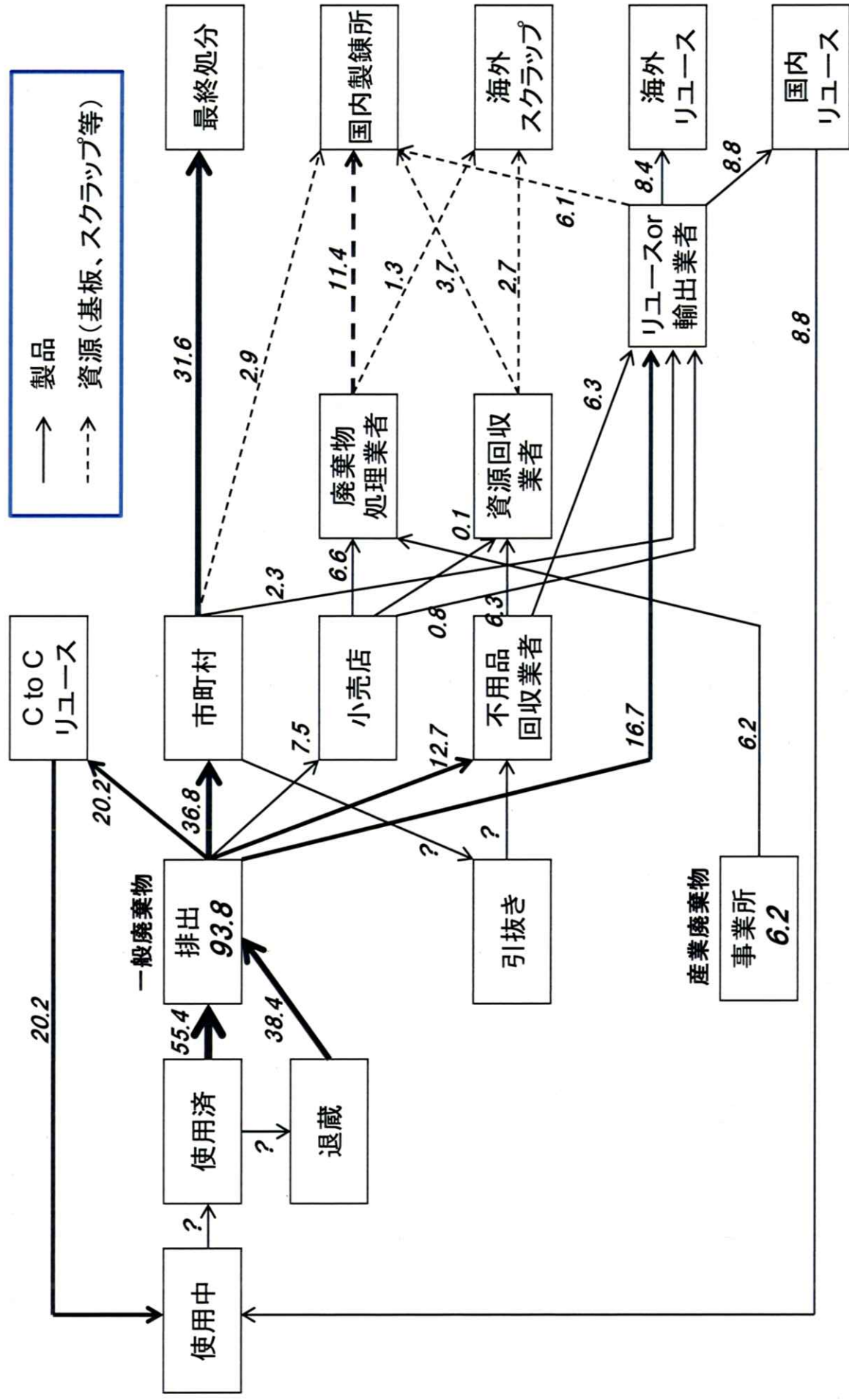
※本フローは暫定版であり、更なる調査を行い、フローの精緻化を行う。

フロー推計結果（一次案）（B：日用品）



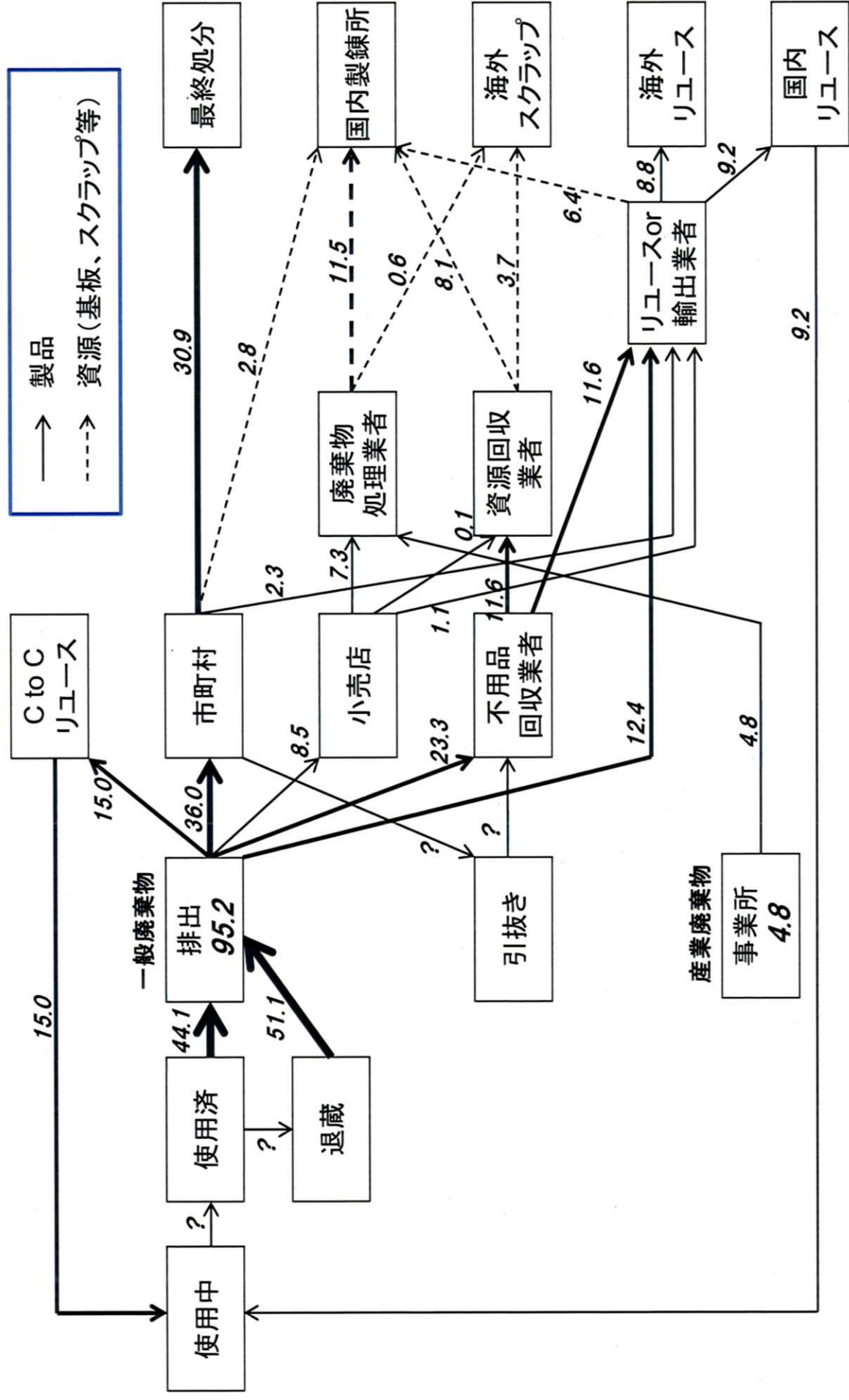
※本フローは暫定版であり、更なる調査を行い、フローの精緻化を行う。

フロー推計結果（一次案）（C：小型機器）



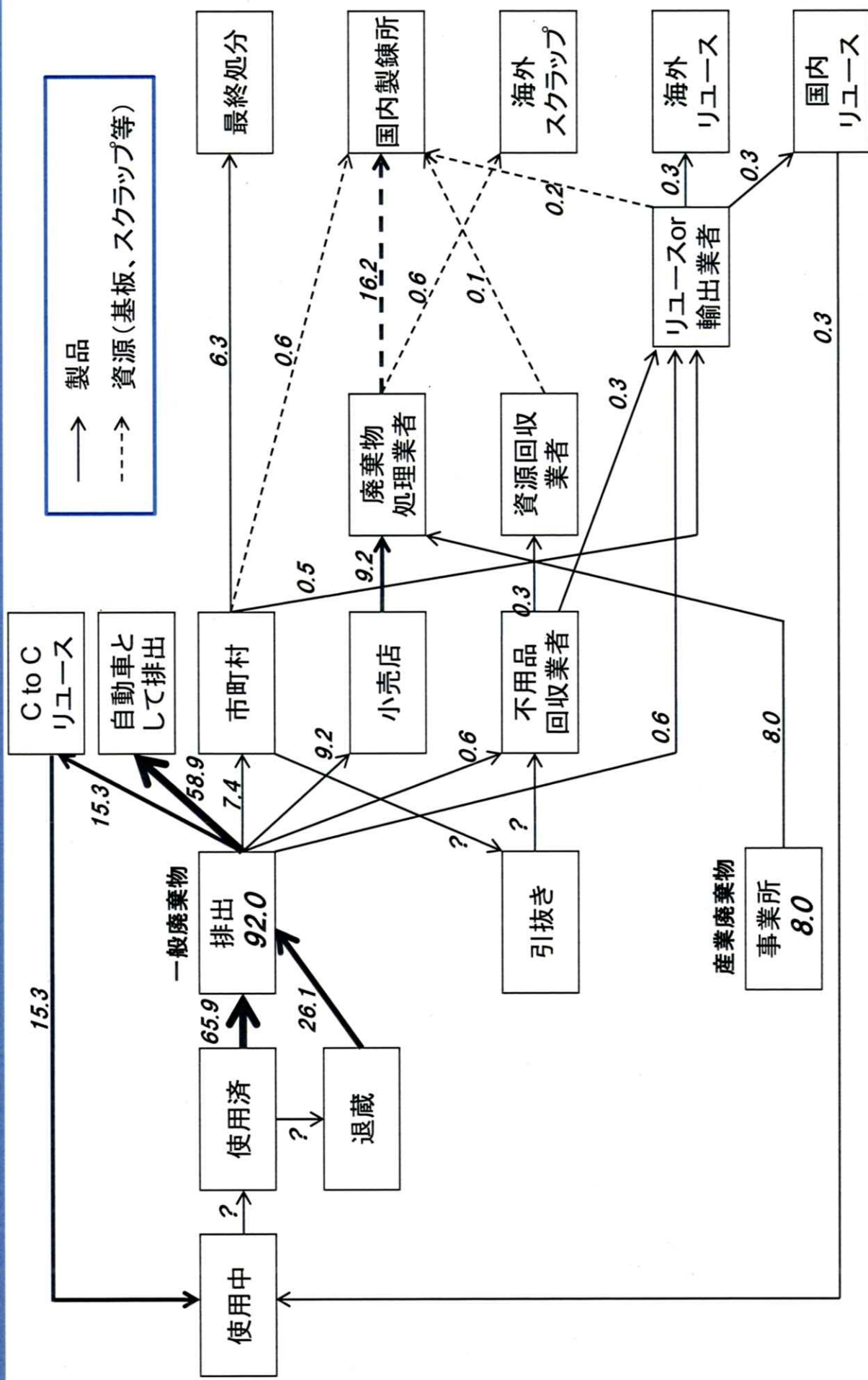
※本フローは暫定版であり、更なる調査を行い、フローの精緻化を行う。

一口一推計結果(一次案)(D:AV機器)



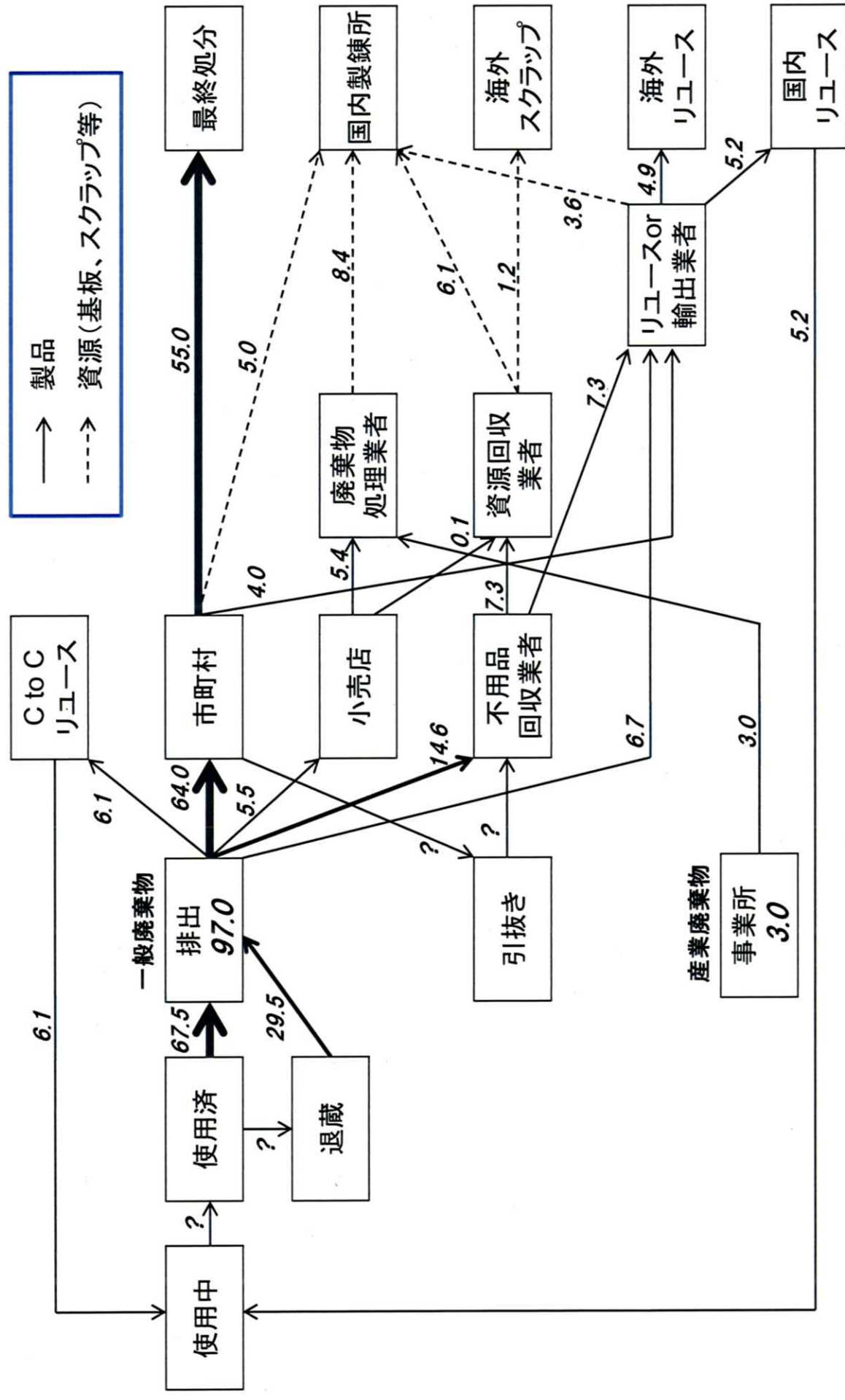
※本フローは暫定版であり、更なる調査を行い、フローの精緻化を行う。

フロー推計結果（一次案）（E：カー用品）



※本フローは暫定版であり、更なる調査を行い、フローの精緻化を行う。

フロー推計結果（一次案）（H：付属品）



※本フローは暫定版であり、更なる調査を行い、フローの精緻化を行う。

現時点で分かったこと

【現時点で分かったこと】

- 製品分類毎に多少の差異はあるものの小型電気電子機器の一般廃棄物と産業廃棄物の割合はそれぞれ約90%、約10%であり、多くが一般廃棄物である。
- 携帯電話・PHS、携帯音楽プレーヤー等、比較的小型の場合、退蔵(ストック)が多い。また、消費者からの排出のうち退蔵からの除去は製品分類毎に差異があるものの2～5割程度であり、退蔵された製品は一定程度排出されている。
- カー用品以外の小型電気電子機器については、市町村への排出が多く(4～6割)、その多くが最終処分されている(カー用品については6割程度が自動車と一体として排出されている)。
- 最終的に廃棄物処理業者、資源回収業者、リユース・輸出業者を経て、2～3割程度が国内にてリユース・リサイクルされている。
- 一方、1～2割程度が海外にリユース目的またはスクラップとして輸出されており、ヒアリング等によれば、そのうち不適正に輸出されているものも存在。



【今後の検討事項】

- パソコン、携帯電話について既存のフローとの整合性等を確認の上、フローを作成する。
- 排出台数または排出重量を考慮したフローを作成する。
- 退蔵量(ストック量)及び退蔵された量(フロー量)について把握し、フローに反映する。
- 不用品回収業者に対してヒアリング調査等を行い、不用品回収業者に関するフロー(不用品回収業者の引取・引渡実態)を精緻化し、フローに反映する。
- 輸出業者等に対してヒアリング調査等を行い、海外への流出(海外スクラップ、海外リユース)について更なる実態把握を行い、フローに反映する。

参考：使用済小型電気電子機器の退蔵の考え方

- 退蔵の定義は、既往調査研究※等を参考に、「1年以内に使用していない製品」とした。
調査対象品目のうち、ビデオカメラやデジタルカメラ等は特定の時期・行事において使用される場合もあるが、この特定の時期・行事は最長でも1年周期であると仮定し、1年以上使用していない製品は使用機会があるが使用されておらず、退蔵されていると考えた。
- アンケート調査では、個人に対してその個人が属する世帯の状況を尋ねることとした。調査対象品目には、携帯電話やノートパソコンのように個人使用・個人退蔵が想定される製品と電子レンジや電気炊飯器のように世帯使用・世帯退蔵が想定される製品が混在しているため、より正確な調査結果を得るために、個人使用・個人退蔵が想定される製品と世帯使用・世帯退蔵が想定される製品に分けて調査を実施した（下図、網かけが退蔵製品）。
- 次ページに示す退蔵割合とはある製品について退蔵製品が1台以上ある世帯の割合を意味する。

【個人使用・個人退蔵が想定される製品】

住まいにあるすべての製品	
自分専用	家族共有・自分以外の家族専用
1年以内に使用している	1年以内に使用している
自分専用 [※] に所有しているもので、自分が本来の用途で1年以内に使用しているもの	家族共有や自分以外の家族専用 [※] に所有しているもので、家族の誰かが本来の用途で1年以内に使用しているもの
1年以内に使用していない (壊れたものも含む)	1年以内に使用していない (壊れたものも含む)

【世帯使用・世帯退蔵が想定される製品】

住まいにあるすべての製品	
1年以内に使用している	自分や自分以外の家族が本来の用途で1年以内に使用しているもの
1年以内に使用していない (壊れたものも含む)	自分や自分以外の家族が本来の用途で1年以内に使用していないもの(壊れたものも含む)

※ 平井ら(京都大学環境保全センター)：平成20年度廃棄物処理等科学研究費補助金研究報告書 小型電気電子機器のリサイクルにかかわる行動モデル研究：

参考：使用済小型電気電子機器の退蔵実態

●携帯電話・PHS(52.7%)、携帯音楽プレーヤー(31.5%)等、比較的小型の小型の場合、退蔵が多い。また、ビデオ・DVDプレーヤー・レコーダ(39.9%)、電気調理器(35.9%)、電気美容機器(33.7%)も退蔵が多くなっている(ここでの退蔵割合は各品目について1台以上退蔵している世帯の割合を示す)。

品目	退蔵割合 %
携帯電話・PHS	52.7
デジタルカメラ	26.1
カメラ(デジタルカメラ以外のその他のカメラ)	31.6
携帯音楽プレーヤー(デジタルオーディオプレーヤー、テープレコーダ、MDプレーヤー、CDプレーヤー)	31.5
時計(腕時計、置き時計、掛け時計等)	59.6
電卓	30.7
電子辞書	12.2
カーナビ(外付け持ち運び可能なタイプ)	2.3
カー電子機器(カーナビ(据付型のタイプ)、カーテレビ、カーDVD、カーステレオ、カーCDプレーヤー、カーMDプレーヤー、カーアンプ、カースピーカー、カーチューナー、カーラジオ、VICISユニット、ETC車載ユニット)	6.8
デスクトップ型パソコン	20.1
ノートブック型パソコン	24.1
タブレット型パソコン	0.7
パソコン用モニター	12.9
据置型ゲーム機	30.0
携帯型ゲーム機	22.2
電子玩具	9.7
ラジオ	28.4
ラジカセ・ステレオセット・スピーカー・アンプ	29.0
ビデオカメラ	21.5
ICレコーダ	5.5
デジタルフォトフレーム	4.2
ビデオ・DVDプレーヤー・レコーダ(再生機能のみ・録画機能付のものを含む)	39.9
プロジェクタ	0.8
アンテナ	10.0
チューナー	8.5
電球・蛍光灯	27.6
電気照明器具	34.2
小型電気電子機器付属品(リモコン、キーボード、マウス、モデム、ゲーム用コントローラ、プラグ、ACアダプタ、延長コード等)	60.6

品目	退蔵割合 %
電子レンジ・オーブンレンジ	8.7
電気炊飯器(電気釜)	12.9
食器洗い乾燥機・食器乾燥機	4.2
電気瞬間湯沸器(電気給湯器)	4.7
電気クッキングヒーター	5.4
電気調理器(電気圧力鍋、電気ジャーポット、揚げ物器、ホームベーカリー、精米器、ミキサー、コーヒーマーカ・コーヒーマル及びティーメーカー、トースター、ホットプレート等)	35.9
換気扇(据付型も含む)	9.4
家庭用生ごみ処理機	1.7
空気清浄機・加湿器・除湿機	21.8
扇風機	21.0
電気暖房機器(電気ファンヒーター等)	21.5
電気カーペット	16.2
こたつ	20.9
電気毛布	16.8
電気掃除機	23.3
電気アイロン	14.9
ミシン	16.9
布団乾燥機	11.4
ズボンプレスサー	3.3
体脂肪計・体重計	14.2
懐中電灯	34.6
電気美容機器(電気かみそり、ドライヤー、電動歯ブラシ、その他の電気美容機器)	33.7
家庭用医療機器(電気マッサージ器、血圧計、電気体温計、吸入器、補聴器等)	20.7
固定電話機・FAX	11.8
プリンタ	18.3
電気ギター	4.1
電子キーボード	9.9
電動工具(電気ドリル、電気のこぎり等)	9.6

参考：推計方法（一般廃棄物・産業廃棄物比率）（1/2）

①製造業者へのヒアリング調査

●製造業者が個人、法人に販売する比率に関して製造業者へヒアリングを実施したところ、データを持ち合わせしていないとのこと。そもそも製造業者が販売する台数は少なく、加えて、法人への販売比率も少ないことから、製造業者からの個人購入と法人購入の比率は100:0と仮定。

②小売店へのヒアリング調査

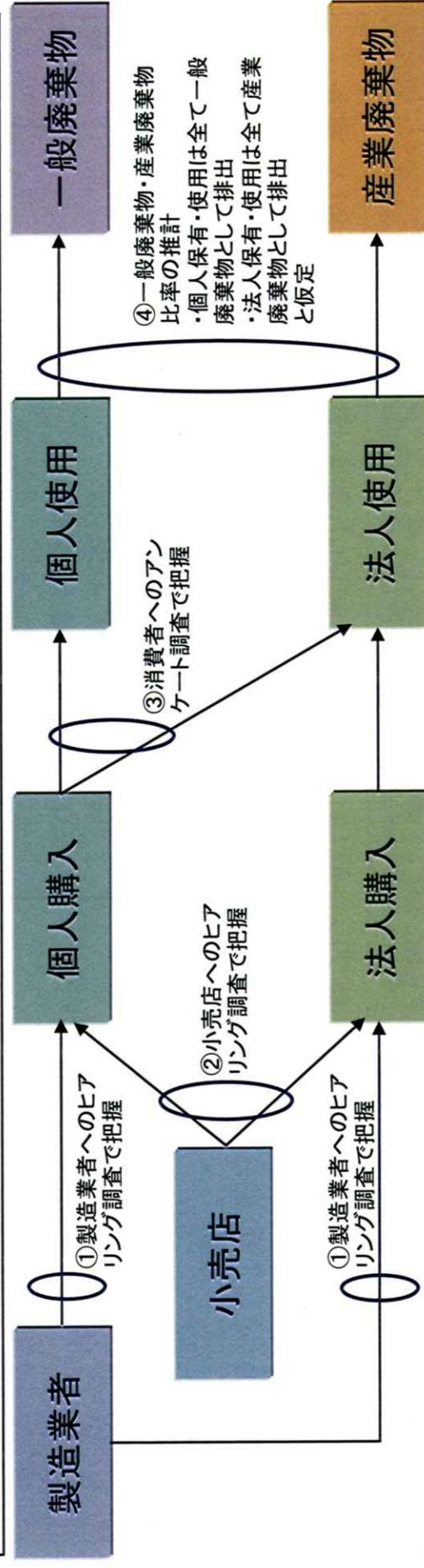
●小売店が個人、法人に販売する比率に関して小売店へヒアリングを実施。販売比率を把握している小売店のデータに基づき、小売店からの個人購入と法人購入の比率を仮定（15ページ参照）。

③消費者へのアンケート調査

●消費者が個人購入した後、法人にて使用するケースが想定され、その割合を把握するために消費者に対してインターネットアンケート調査を実施。当該調査結果に基づき、個人購入後の個人使用と法人使用の比率を設定（各分類に該当する品目における比率の平均値を使用、15ページ参照）。

④一般廃棄物・産業廃棄物比率の推計

●①～③の調査結果に基づき、一般廃棄物・産業廃棄物比率を推計。個人保有・使用は、全て一般廃棄物としての排出、法人保有・使用は全て産業廃棄物としての排出（15ページ参照）。



参考：推計方法（一般廃棄物・産業廃棄物比率）（2/2）

【小売店からの個人・法人購入比率】

分類	個人購入	法人購入
A 中型機器	97.2%	2.8%
B 日用品	98.0%	2.0%
C 小型機器	96.4%	3.6%
D AV機器	97.9%	2.1%
E カー用品	93.5%	6.5%
H 付属品	98.5%	1.5%

※小売店へのヒアリング調査に基づき設定

【個人購入後の個人使用と法人使用の比率】

分類	個人使用	法人使用
A 中型機器	98.6%	1.4%
B 日用品	99.4%	0.6%
C 小型機器	97.3%	2.7%
D AV機器	97.2%	2.8%
E カー用品	98.4%	1.6%
H 付属品	98.5%	1.5%

※消費者へのアンケート調査に基づき設定

【一般廃棄物・産業廃棄物比率】

分類	一般廃棄物	産業廃棄物
A 中型機器	95.9%	4.1%
B 日用品	97.4%	2.6%
C 小型機器	93.8%	6.2%
D AV機器	95.2%	4.8%
E カー用品	92.0%	8.0%
H 付属品	97.0%	3.0%

※上記比率を用いて推計

参考：推計方法（消費者からの排出先）

- 消費者に対するアンケート調査に基づき、①単純排出、退蔵からの除去の割合及び②消費者からの排出先割合を設定。
- ①単純排出、退蔵からの除去の割合
- 小型電気電子機器の排出経験のある消費者に対して、排出時の当該製品の使用状況を尋ね、「1年以上使用していないかった」と回答した割合を退蔵からの除去割合とした。
- ②消費者からの排出先割合
- 小型電気電子機器の排出経験のある消費者に対して、排出時の排出先を尋ね、その割合を使用。選択肢のうち、「フリーマーケット・バザー」、「インターネットオークション」、「友人・知人・親戚等」を「CtoCリユース」として合算。なお、具体的な排出先が不明である「その他」及び排出比率の少なかつた「引越業者」を母数から除外してそれぞれの比率を算出。

【単純排出、退蔵からの除去の割合】【消費者からの排出先割合】

分類	単純排出	退蔵除去
A 中型機器	50.2%	45.7%
B 日用品	74.9%	22.5%
C 小型機器	55.4%	38.4%
D AV機器	44.1%	51.1%
E カー用品	65.9%	26.1%
H 付属品	67.5%	29.5%

※消費者アンケート調査に基づき設定

分類		小売店	リユース 業者	自治体	不用品回 収業者	CtoCリユ ース	
A	中型機器	7.2%	8.0%	48.2%	17.7%	14.9%	
B	日用品	7.0%	6.4%	60.3%	15.3%	8.4%	
C	小型機器	7.5%	16.7%	36.8%	12.7%	20.2%	
D	AV機器	8.5%	12.4%	36.0%	23.3%	15.0%	
H	付属品	5.5%	6.7%	64.0%	14.6%	6.1%	
分類	自動車 と一体 で排出	小売店	中古販 売店	自治体	不用品 回収業 者	CtoCリ ユース	
	E	力一用品	58.9%	9.2%	0.6%	7.4%	0.6%

※消費者アンケート調査に基づき設定

参考：推計方法（市町村からの排出先/不用品回収業者からの排出先）

- 市町村へのアンケート調査結果(1,748市町村を対象。回収率100%)に基づき排出先割合を設定。具体的な排出先が不明である「その他」を母数から除外してそれぞれの比率を算出。

【市町村からの排出先割合】

分類	そのまま 埋立処 分	焼却後、 残渣を 埋立処 分	破碎後、 残渣を 埋立処 分	溶融スラ グ化して 再利用・ 処分	そのまま有価物として売却			その他	
					国内リユ ース	国内リサ イクル	海外 輸出		
全品目共通	10.2%	13.7%	49.5%	7.6%	13.3%	12.0%	52.4%	30.0%	27.8%

埋立：85.9%

国内リサイクル：7.8%

リユース：6.3%

※市町村へのアンケート調査に基づき設定

- 不用品回収業者(16社)へのヒアリング調査結果に基づき排出先割合を設定。不用品回収業者に対し、回収した小型電気電子機器の引渡先を確認。引渡先としては、資源回収業者(8件)、リユース・輸出業者(8件)との回答があり、回答件数ベースで排出先割合(資源回収業者50%、リユース・輸出業者50%)を推定。
- 今後、更なるヒアリング調査を行い、不用品回収業者の排出先割合を精緻化する。

参考：推計方法（小売店からの排出先）

- 小売店へのアンケート調査結果に基づき排出先割合を設定。全国電気商業組合連合会企業（以下、ZDSと言う。）のうち4,000社、量販店20社（売上規模上位を抽出）に対して郵送アンケートを実施（回収数：ZDS：500社（12.5%）／量販店17社（85.0%））。
- 排出先割合の算出に当たっては、団体毎に排出台数の規模が異なること、製品分類毎にも取扱規模が異なることから、各製品分類の代表製品における両団体のシェア（販社出荷金額ベース）に基づき推計を行った。

小売店の排出先比率＝ZDSの排出先比率×ZDSのシェア

＋量販店の排出先比率×量販店のシェア

【推計に用いた製品分類毎のシェア】

分類	代表製品	ZDS	量販店	その他
A 中型機器	電子レンジ	8.8%	72.6%	18.6%
B 日用品	その他の調理機器	3.6%	60.7%	35.7%
C 小型機器	ファクシミリ	4.5%	78.0%	17.5%
D AV機器	DVDビデオ	8.1%	78.5%	13.4%
E カー用品	－	0.0%	100.0%	0.0%
H 付属品	全品目合計	7.4%	62.8%	29.8%

※RIC：家電流通データ総覧2010。カー用品についてはデータが存在しないため、量販店での取扱を100%と仮定した。

【小売店からの排出先割合】

分類	廃棄物 処理業 者	資源回収 業者	リユース 業者
A 中型機器	94.2%	1.7%	4.1%
B 日用品	99.1%	0.8%	0.0%
C 小型機器	88.4%	0.7%	10.9%
D AV機器	86.0%	1.5%	12.5%
E カー用品	100.0%	0.0%	0.0%
H 付属品	98.7%	1.2%	0.0%

※小売店へのアンケート調査に基づき設定

参考：推計方法（資源回収業者からの排出先）

- 資源回収業者へのアンケート調査結果に基づき排出先割合を設定。日本鉄リサイクル工業会会員企業892社に対して郵送アンケートを実施（回収数：367社、回収率：41.1%）。

【資源回収業者からの排出先割合】

分類	重機等で減容し て販売		重機等で減容し て販売		破碎・切断して 資源回収し販 売		破碎・切断して 資源回収し販 売		解体して資源回 収し販売	
	国内	海外	国内	海外	国内	海外	国内	海外	国内	海外
A 中型機器	0.1%	22.4%			35.5%	12.1%	6.3%	23.2%		
B 日用品	0.0%	17.2%			34.7%	13.3%	3.4%	31.4%		
C 小型機器	0.0%	6.1%			4.2%	18.8%	42.5%	9.4%		
D AV機器	0.0%	6.1%			29.9%	17.3%	38.5%	8.0%		
E カー用品	11.6%	0.4%			6.0%	1.8%	30.2%	1.8%		
H 付属品	0.0%	2.1%			23.1%	2.9%	22.4%	9.9%		

分類	中古品販売業 者		中古品販売業 者		廃棄物処分 可業者	資源回収業者	自ら中古品販 売		その他
	国内	海外	国内	海外			国内	海外	
A 中型機器	0.0%	0.0%			0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.1%
B 日用品	0.0%	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
C 小型機器	0.0%	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.9%
D AV機器	0.0%	0.2%			0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
E カー用品	2.6%	7.6%			0.0%	0.0%	22.3%	15.6%	0.0%
H 付属品	0.0%	0.0%			35.2%	0.7%	0.0%	0.0%	3.7%

分類	国内リサイクル	海外リサイクル	国内リユース	海外リユース
A 中型機器	42.1%	57.9%	0.0%	0.0%
B 日用品	38.1%	61.9%	0.0%	0.0%
C 小型機器	57.6%	42.4%	0.0%	0.0%
D AV機器	68.5%	31.3%	0.0%	0.2%
E カー用品	47.8%	4.0%	2.6%	7.6%
H 付属品	82.1%	15.6%	0.0%	0.0%

※資源回収業者へのアンケート調査に基づき設定

参考：推計方法（廃棄物処理業者からの排出先）

●廃棄物処理業者へのアンケート調査結果に基づき排出先割合を設定。全国産業廃棄物連合会
員企業のうち金属くずの取り扱いのある476社に対して郵送アンケートを実施（回収数：200社、回収
率：42.0%）。

【廃棄物処理業者からの排出先割合】

分類	重機等で減容し て販売		重機等で減容し て販売		破碎・切断して 資源回収し販 売		破碎・切断して 資源回収し販 売		解体して資源回 収し販売	
	国内	海外	国内	海外	国内	海外	国内	海外	国内	海外
A 中型機器	1.7%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	74.5%	1.5%		
B 日用品	4.6%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	63.5%	2.6%		
C 小型機器	0.2%	0.0%	23.6%	0.0%	0.0%	0.0%	48.0%	0.1%		
D AV機器	16.4%	0.0%	2.5%	2.4%	3.3%	0.0%	67.2%	0.0%		
E カー用品	82.9%	0.0%	1.6%	4.1%	0.0%	0.0%	28.0%	0.0%		
H 付属品	69.2%	0.0%	0.5%	0.1%	0.0%	0.0%				

分類	中古品販売業 者		中古品販売業 者		廃棄物処分 可業者		資源回収業者		自ら中古品販 売		自ら中古品販 売		その他
	国内	海外	国内	海外	国内	海外	国内	海外	国内	海外	国内	海外	
A 中型機器	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	11.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.1%
B 日用品	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	16.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.3%
C 小型機器	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	23.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%
D AV機器	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	6.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%
E カー用品	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%
H 付属品	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%

分類	国内リサイクル	海外リサイクル	国内リユース	海外リユース
A 中型機器	90.6%	8.4%	0.0%	0.0%
B 日用品	85.4%	12.8%	0.0%	0.0%
C 小型機器	88.7%	10.1%	0.0%	0.0%
D AV機器	95.0%	4.6%	0.0%	0.0%
E カー用品	94.0%	3.6%	0.0%	0.0%
H 付属品	99.8%	0.1%	0.0%	0.0%

※廃棄物処理業者へのアンケート
調査に基づき設定

参考：推計方法（リユース業者からの排出先）

- リユース業者へのアンケート調査結果に基づき排出先割合を設定。リユース業者の業界団体である日本リユース機構、ジャパンリサイクルアソシエーション、日本リユース業協会会員企業のうち小型電気電子機器の取り扱いのある172社に対して郵送アンケートを実施（回収数：26社、回収率：15.1%）。
- 製品分類毎に回答頂いた企業、製品分類毎のデータがなく、全品目を合算して回答頂いた企業があり、後者の占める割合が全体の半数以上となることから、製品分類毎の回答についても全品目を合算して回答頂いた結果に合算し、全品目共通の排出割合を推定した。
- なお、リユース業者は業態が様々であり、特に輸出を専業とした業者の実態把握が十分でないため、今後、ヒアリング調査等を行い、排出先割合を精緻化する。

【リユース業者からの排出先割合】

分類	自ら中古品 販売	自ら中古品 販売	中古品販 売業者	中古品販 売業者	廃棄物処 分許可業 者	資源回収 業者
	国内	海外	国内	海外		
全品目共通	35.4%	32.4%	1.4%	2.7%	0.0%	2.5%
分類	重機等で減 容して販売	重機等で減 容して販売	破碎・切断 して資源回 収し販売	破碎・切断 して資源回 収し販売	解体して資 源回収し販 売	解体して資 源回収し販 売
	国内	海外	国内	海外	国内	海外
全品目共通	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.4%

分類	国内リサイクル	海外リサイクル	国内リユース	海外リユース
全品目共通	25.4%	0.0%	36.8%	35.2%

※リユース業者への
アンケート調査に
基づき設定

